

委員会・室 事業計画書

討議・協議・**審議**

- 議 案 名: 2022年度 地域共感委員会 年間事業計画(案)
- フ ァ イ ル 名: 2022年度 地域共感委員会年間事業計画 ver4.3
- 担当正副理事長職氏名:副理事長 瓜生 真吾
 - ◆確認日:2021年11月4日 ◆確認日:2021年11月16日
 - ◆確認日:2021年12月7日 ◆確認日: 年 月 日

- 委 員 長 氏 名 :委員長 石島 来太
- 文書作成者職氏名: 委員長 石島 来太
 - ◆作成日:2021年11月4日 ◆作成日:2021年11月4日
 - ◆作成日:2021年11月16日 ◆作成日:2021年11月17日
 - ◆作成日:2021年11月18日 ◆作成日:2021年11月28日
 - ◆作成日:2021年12月6日 ◆作成日:2021年12月7日

■委員会・室 事業計画

1. 委員会 スローガン

最初の一雫。ど真ん中から波紋を起こす。

2. 委員会 基本方針

- (1)地域社会の問題を解決し、多くの市民の方に必要と感てもらえる対外事業を実施する。
- (2)SNS 等を活用し、対外事業や例会の様子を分かりやすく市民の方へ向けて発信する。

3. 事業計画

(1)例会の開催

農業の課題について理解を深められる例会を行う。
 会員一人ひとりの「伝える力」を磨く例会を行う。
 会員一人ひとりの「情報を整理し、他人に理解してもらう力」を磨く例会を行う。

(2)地域の共感を生む対外事業の実施

喜多方の農業の課題を明確化し、地域の方々と協力しながら共感を生む対外事業を実施する。

(3)効果的な活動の発信

SNS 等を効果的に活用し、対外事業の発信を行う。

(4)納会・卒業式の運営

他の委員会と協力しながら、卒業生の方が気持ちよく会津喜多方青年会議所を去れるような式を行う。

(5)積極的な会員拡大

次年度以降より良い活動を行なっていくために、委員一人ひとりが積極的に会員拡大に取り組む。

4. 例会・通年行事担当

- ・対外事業
- ・3月例会:農業の課題について理解を深められる例会を行う。
- ・8月例会:会員一人ひとりの「伝える力」を伝える例会を行う。
- ・11月例会:会員一人ひとりの「情報を整理し、他人に理解してもらう力」を磨く例会を行う。

5. 年間スケジュール

事業・例会等	月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
対外事業				計画	討議	討議	審議	事業	事業	事業	事業	事業	事業	事業	事業	報告
3月例会				計画	討議	審議	例会	報告								
8月例会									計画	討議	審議	例会	報告			
11月例会												計画	討議	審議	例会	報告

■委員会・室 予算

1. 概算予算額

項目(事業・例会・ほか)	予算額	摘要
対外事業	203,000 円	収入→150,000 円 協賛金:50,000 円 補助金:100,000 円 支出→203,000 円 広報費:100,000 円 消耗品費:100,000 円 保険料:3,000 円
3月例会	10,000 円	講師謝金:10,000 円
8月例会	38,000 円	講師謝金:10,000 円 東京喜多方交通費 20,000 円 喜多方宿泊滞在費:8,000 円
11月例会	10,000 円	消耗品費:10,000 円
【合計】	261,000 円	

■前回までの流れ (意見と対応やポイントなど)

◆第3回正副理事長予定者会議 2021年11月9日(火) [討議]・協議・審議

意見: 利用を検討している SNS を具体的に教えて下さい。

対応: Facebook、Instagram、Twitter、TikTok、YouTube、公式 LINE 等メジャーな SNS を利用し、情報発信の対象と内容に合わせて使い分けていきます。

意見: 現状考えている地域の課題とはどのようなものでしょうか。

対応: 耕作放棄地の増加、地域の担い手の不足、の2点を主な課題として設定します。

意見： SNS の利用も必要ですが、事業の発信ということで YouTube などを活用した動画の配信を検討するのはいかがでしょうか。

対応： 動画メディアでの発信は実施をしたいと考えています。

意見： 予算を構築する際に SNS の有料広告などを検討しても良いのではないのでしょうか。

対応： 検討材料の一つとして、今後議論していきたいと思います。

意見： 委員会基本方針①ですが、JC の事業で地域社会の問題を「解決」にまで導くことはできるのでしょうか。

対応： 地域からその問題を「無くす」ことはできないと考えていますが、一過性かつ一部分だけでも解決させることは可能かと考えています。そのプロセスを通じて、根本的な地域課題の「解消」の方策を考察していく予定です。

意見： 委員会基本方針②企業でもそうですが、SNS の一番の難しいところはそれをいかに見てもらうために広報できるか、だと思います。広告の是非はともかくとしてただ運用、発信するだけでなく、どうやって広めていくかも重要です。

対応： その通りだと考えています。魅力ある投稿と、こまめな運用でフォローを増やしていきたいと考えています。

意見： 例会の開催の部分にある、深められる「ような」ではなく深めてください。その他も同様です。

対応： 対応いたしました。

意見： 年間予算を他の委員会と相談の上決定してください。

対応： 対応いたします。

意見： 効果的な活動の発信は難しいと思うが、SNS だけに固執しないで委員会で検討して欲しい。誰を対象にするのかなど、検討して欲しい。

対応： 今後検討していきます。

意見： 地元新聞社は地元の人をよく見ているので、活用できることがあると思う。

対応： 地元メディア各社と連絡を密にしながら、効果的な発信を行っていきます。

意見： スローガンの意味するところはなにか。

対応： 「最初の一歩」→誰を待つわけでもなく、自らが最初に動き出し取り組んでいく意味。「ど真ん中から波紋を起す」→地域が孕む課題を外側から評論するのではなく、課題の中心に飛び込み自ら動いていくことで、その行動が共感の輪となり波紋のように広がっていくということを意味しています。

◆第3回理事予定者会議

2021年11月19日（金）

[討議・協議・審議]

意見： 有料広告を使って、より多くの一般の方に事業を知ってもらうきっかけになるのではないかと。

対応： 前向きに検討したいと思います。

意見： なぜお米作りにフォーカスしたのか。

対応： 「共感」を呼ぶ事業をするために、青年会議所会員が自ら主体となって課題解決のための行動を泥臭く行う必要があると考えました。そうした姿を見せることができる事業として、耕作放棄地を開墾し稲作を行うことを提案しました。

意見： 稲作で、果たして多くの市民から「共感」を得ることができるのか。

対応： 委員会内でよく検討し、次回以降ご説明致します。

意見：3カ年の事業として考えることもありだと思ふ

対応：稲作をやる場合だと、年度を跨いだ事業を行うことが望ましいと考えています。

意見：稲作だと年間を通したもので、事業のリカバリーが難しくならないだろうか

対応：その点念頭に置きまして委員会内で検討を行いたいと思います。

意見：稲作ではないもので検討しても良いのでは

対応：委員会内で検討いたします。

意見：農業以外にも視野を広げてみるのはどうか。例えばSDGsの視点での事業を検討してみるのも良いのでは

対応：委員会内で検討いたします。